

横河レンタ・リースが ワークスタイル変革の基盤として セキュアな無線LAN環境を全社導入

統合認証基盤HPE Aruba ClearPassを採用し
セキュアかつ利便性の高いモバイルアクセス環境を実現

“HPE Aruba ClearPassは、
ユーザーの利便性、セキュリ
ティの強化、運用負荷の低減
のすべてにメリットをもたら
しました”

—横河レンタ・リース株式会社
システム事業本部
エンジニアリング事業部
事業推進部 ソリューショングループ
システムエンジニア
工藤 拓光 氏



YOKOGAWA ◆
横河レンタ・リース株式会社

目的

ビジネスのスピード化、ソリューション提案の高付加価値化を目指し、全社でワークスタイル変革を推進。これを支える基盤として、セキュアで高速な無線LAN環境を整備する。

アプローチ

証明書ベースのユーザー・デバイス認証を実装する。ただし、無線LAN環境のセキュリティ強化・維持のために運用負荷を高めないことを条件とする。

ITの効果

- HPE Aruba IAPを採用しコントローラー不要で数十台規模のアクセスポイント運用を実現
- 統合認証基盤HPE Aruba ClearPassにより証明書ベースのユーザー・デバイス認証を容易に導入
- セキュリティを強化しつつ柔軟なアクセス、運用負荷・コストを抑えた無線LAN環境を実現
- HPE Aruba AirWaveを利用した統合的な全社ネットワーク監視を実現

ビジネスの効果

- 武蔵野本社および新宿本社の導入から着手し全12拠点へ段階的な展開を可能に
- HPE Aruba無線LANシステムの自社導入をショーケースに「ワークスタイル変革」の顧客提案を推進
- 独自のデータレスPC™ソリューション「Flex Work Place」とHPE Arubaを組み合わせた提案が可能に
- 顧客企業へのHPE Aruba製品導入アセスメント・設計・構築・運用支援サービスを整備



横河レンタ・リース株式会社
執行役員
情報システムセンタ長
高倉 敏行 氏



横河レンタ・リース株式会社
システム事業本部
エンジニアリング事業部
事業推進部長
松尾 太輔 氏



横河レンタ・リース株式会社
システム事業本部
エンジニアリング事業部
事業推進部 ソリューショングループ
システムエンジニア
工藤 拓光 氏

横河レンタ・リースが、ワークスタイル変革への取り組みを支える基盤として、セキュアかつ利便性の高い無線LAN環境の全社導入を進めている。コントローラー不要で数十台規模のアクセスポイント運用を実現する「HPE Aruba Instant Access Point (IAP)」を採用。統合認証基盤「HPE Aruba ClearPass」による証明書ベースのユーザー・デバイス認証を利用し、セキュリティを強化しつつ快適なモバイルアクセスを可能にしたことが大きなポイントだ。横河レンタ・リースでは、HPE Aruba製品の自社導入・運用の経験を生かして、顧客企業へのソリューション提案を強化している。

チャレンジ

ビジネスのスピード化を目指して ワークスタイル変革を推進

IT機器・計測器を中心とするレンタルサービス事業、独自開発のソフトウェアに強みを持つシステムエンジニアリング事業を展開する横河レンタ・リースが、全社を挙げて「ワークスタイル変革」に取り組んでいる。2017年1月に創業30周年を迎えた同社を突き動かしたのは、デジタル化がもたらす市場と顧客要求の急速な変化である。執行役員であり情報システムセンタ長を務める高倉敏行氏は次のように話す。

「ハードウェアビジネスは堅調に伸びているものの、ITインフラやソフトウェアのクラウド化など『所有から利用へ』という流れは着実に進展しています。私たちは、『モノからコトへ』を旗印に新しいサービスの創造に挑戦し、新しいお客さま価値を提供できる企業への変革を急いでいます」

全社を挙げて「ワークスタイル変革」に取り組む目的は2つある。まず、より柔軟な働き方を実現し、社員の生産性とビジネススピードを高めること。もうひとつは、システムエンジニアリング事業におけるソリューション提案力の強化である。

「より柔軟な働き方を実現する基盤として、社内外を問わずモバイルの活用を推進しています。その一環として、2016年4月に全社への無線LAN環境の導入に着手しました。社員をデスクから解放し、会議室や打ち合わせスペースなど、会社のどこにいても自分のデスクと同じように業務を行える——そうしたPCを活用できる環境を整備することを目指したのです。これと並行してフリーアクセスを試行したり、クラウドベースのコミュニケーションツールにより情報へのアクセスや共有をしやすしたり、会議や打ち合わせのやり方を見直すなど、社員が働き方に対する意識を変えていけるよう包括的に取り組んでいます」(高倉氏)

システム事業本部 エンジニアリング事業部 事業推進部長の松尾太輔氏は、「セキュアな無線LAN環境を自社に導入し、設計・構築・運用に対してのノウハウを蓄積する狙いもありました。技術面だけでなく、導入手順や運用方法、社員の働き方や勤務制度にも踏み込んだお客さまへの提案に生かす考えです」と話す。

横河レンタ・リースが選択した無線LANソリューションは「HPE Aruba」。中でも、無線LAN環境をセキュアかつ快適に利用するための統合認証基盤「HPE Aruba ClearPass」を高く評価した。これらは、日本ヒューレット・パカード (HPE) が「ワークプレイスの生産性向上」を実現するための中核と位置づける製品群である。

ソリューション

HPE Aruba無線LAN ソリューションを採用

今あなたがいる場所がオフィスになる——HPE Arubaが提供するモビリティソリューションの価値は、このメッセージに集約されている。横河レンタ・リースが採用したのは、無線LANコントローラー内蔵のアクセスポイント「HPE Aruba Instant Access Point (IAP)」、統合的なネットワーク監視を実現する「HPE Aruba AirWave」、統合認証基盤「HPE Aruba ClearPass」である。松尾氏は要求事項に落とし込む経緯を次のように話す。

「ビジネス要求を満たす高品質なアクセスが可能であることを大前提に、①導入にかかるコストと工期を抑えられること、②スモールスタートと拡張が容易なこと、③セキュアで快適なアクセス環境を維持するための運用負荷が低いことを重視しました」

HPE Aruba製品が提供する快適なモビリティ体験は、世界中で高く評価されている。同じIEEE802.11ac規格に基づく製品でも「ユーザー体験」が大きく異なるのは、負荷分散や電波自動調整、デバイス接続とローミングの制御、アプリケーション識別など、HPE Arubaが実装する機能の違いが大きい。無線LAN環境の機器選定と設計を担当したシステム事業本部 エンジニアリング事業部 事業推進部の工藤拓光氏は、次のように話す。

「HPE Aruba のIAPは、コントローラー機能を内蔵したアクセスポイントです。コントローラー製品が不要で、1セグメントあたり50台規模のIAPが自律的に動作し、かつ一元的に管理できる特長があります。コントローラー製品が必要な他社製品の6割程度のコストで、無線LAN環境を構築できるメリットは大きいですね。また、世界的に評価の高いHPE Aruba製品が提供する先進機能を、ユーザーの快適なモビリティ体験に生かせる期待もありました」

横河レンタ・リース株式会社

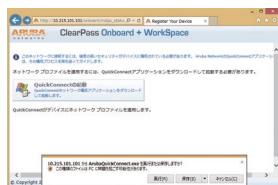
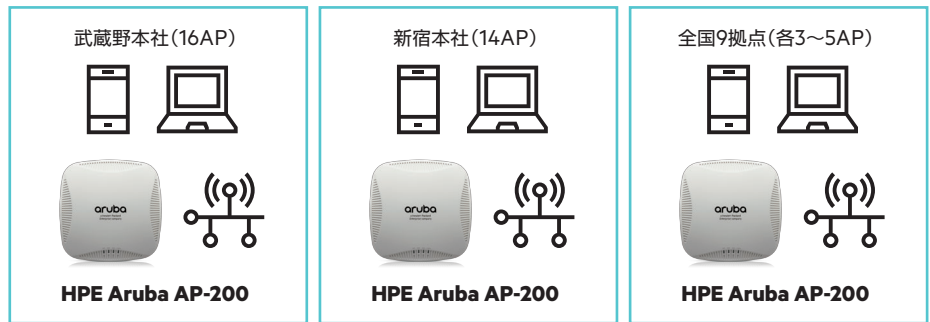
IT



横河レンタ・リース株式会社
システム事業本部
エンジニアリング事業部
事業推進部 ソリューショングループ
システムエンジニア
黒田 功 氏

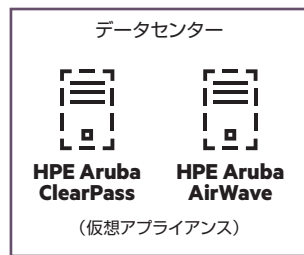


横河レンタ・リース株式会社
情報システムセンタ
インフラ・サポート部
インフラグループ
畑屋 央 氏



**統合認証基盤
HPE Aruba ClearPass**

- ・ポリシーベースのAAAソリューション
- ・ロールベースのアクセスコントロール
- ・AEP-TLS認証による認証自動化
- ・セキュリティ機器との連携
- ・アクセスログ可視化



**統合ネットワーク監視
HPE Aruba AirWave**

- ・ユーザー視点での可視化
- ・IAPごとの負荷状況
- ・アプリケーションごとの帯域使用量
- ・ユーザーデバイスのヘルス状態
- ・Wi-Fiの有効範囲示すヒートマップ

HPE ArubaのIAPは、小規模な環境から始めて段階的に利用範囲を拡大していくことも容易だ。横河レンタ・リースでは、情報システム部門でのテスト運用を経て武蔵野本社全体へ展開し、その後全国拠点へと導入を進めるアプローチを採用した。無線LAN環境の構築を担当した同部の黒田功氏は、その過程を次のように振り返る。

「まず、3台のHPE Aruba IAPを情報システム部門のエリアに設置し、さまざまなテストを重ねました。ここで威力を実感したのが『HPE Aruba AirWave』です」

HPE Aruba AirWaveは、ネットワークサービスの状態監視を行うソリューションである。IAPごとの負荷状況、アプリケーションごとの帯域使用量、ユーザーやデバイスのヘルス状態などを分かりやすく可視化する。Wi-Fiの有効範囲を可視化するヒートマップをサポートしており、構築前のアセスメントにも活用できる。

「社外のアクセスポイントからの電波干渉が原因で、快適に通信できないエリアがあることが分かりましたが、チャンネルボンディングの設定変更で速やかに解決できました。HPE Aruba AirWaveを使えば、問題発生時の原因特定から解決までをスピーディに行えます」(黒田氏)

実運用を担当する情報システムセンタ インフラ・サポート部の畑屋央氏は、「検証期間、試用期間を経て9月末には本番運用をスタートさせました。検証機を兼ねた3台のHPE Aruba IAPの設定情報を引き継ぎ、IAPを増設するだけで武蔵野本社の展開を行えました。この圧倒的なスピード感と用途に合わせて自由に拡張できるのは、HPE Arubaの大きなメリットだと思います」と評価する。

**「HPE Aruba ClearPass」による
証明書ベースのユーザー・デバイス認証**

無線LAN環境の導入において、強固なネットワークセキュリティの実現は最も重要なテーマのひとつである。横河レンタ・リースではこの課題をどのように解決したのか。

「私たちが重視したのはユーザー・デバイス認証です。未登録のユーザーやデバイスにネットワークを接続させないようにすることはもちろん、ノート型PCやスマートデバイスなど、登録済みの端末を正しく認証して端末ごとにアクセス権限を割り当てられるよう設計しました。証明書によるユーザー・デバイス認証を実現する『HPE Aruba ClearPass』は、まさにこの要件に合致したソリューションでした」(工藤氏)

HPE Aruba ClearPassは、ポリシーベースのAAA (認証・認可・アカウント管理)ソリューションとして、あらゆるユーザー・デバイスに対し適切なネットワークアクセスを実現する。不審な挙動を検知して自動的にブロックするなど、アクセス権限を変更するような実運用に即した機能も備えている。

「無線LAN環境の運用開始に際して大きな威力を発揮したのは『ClearPass Onboard』です。この機能を利用することで、ユーザーが自身のユーザーIDで登録用SSIDにアクセスし、デバイスのネットワーク設定とクライアント証明書が自動的にデバイスにインストール・適用される仕組みを用意しました。ユーザー・デバイス認証のための設定作業を安全・確実に、しかもセルフサービスで実現したのです」(工藤氏)

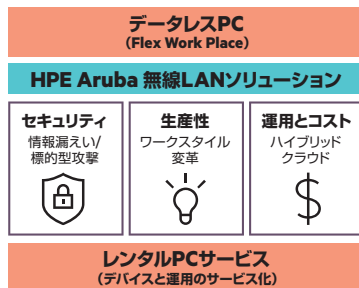
ソリューション概略

導入ハードウェア

- HPE Aruba IAP-200シリーズ

導入ソフトウェア

- HPE Aruba ClearPass
- HPE Aruba AirWave

横河レンタ・リースが推進する
「Workspace as a Service」

“私たちは、お客さまの働き方や働く場所の可能性を広げ、業務効率を高め、ムダやストレスを解消し、より大きなビジネスの成果を手にしていただけよう、HPE Aruba製品を活用したセキュアかつ高速な無線LANソリューションの価値を磨き上げていきたいと考えています”

横河レンタ・リース株式会社 執行役員 情報システムセンタ長
高倉 敏行 氏

横河レンタ・リースが推進する
「Workspace as a Service」

一般に、デジタル証明書の発行・導入・管理はIT部門にとって大きな負担となるが、HPE Aruba ClearPass Onboardによる「認証設定のセルフサービス化」は運用負荷の軽減に極めて有効だ。中規模以上の無線LAN環境を運用するためには、欠かせないソリューションとなるだろう。

「一度クライアント証明書を適用してしまえば、ユーザーはログインのたびに資格情報の入力を求められることはありません。HPE Aruba ClearPassは、ユーザーの利便性、セキュリティの強化、運用負荷の低減のすべてにメリットをもたらしました」(工藤氏)

新たに構築された無線LAN環境では、起点となった武蔵野本社に16台のHPE Aruba IAPが設置された。続く新宿本社では14台が配備され、2017年3月を目標に全国計12拠点に順次展開する予定だ。すべてのHPE Aruba IAPは、HPE Aruba AirWaveのWebベースの管理インタフェースにより稼働状況が把握できる。設定情報やファームウェアの一元管理・更新も可能だ。

「既存の環境にHPE Aruba IAP、HPE Aruba AirWaveサーバー、HPE Aruba ClearPassサーバーを追加するだけで、セキュアかつ快適な無線LAN環境を実現しました。他社製品で同等の環境を構築するよりもはるかにシンプルな構成で済み、コストも大幅に抑えることができました」(畑屋氏)

「PCLレンタルサービス、データレスPCソリューション、HPE Arubaの無線LANソリューションを組み合わせ、お客さまが求めるワークスペースのすべてをサービスとして提供する『Workspace as a Service』のコンセプトを具現化していきます。『所有から利用へ』という潮流は、私たちがレンタルビジネスで培ったノウハウを生かせる領域です。大きなビジネスチャンスがあると考えています」(松尾氏)

工藤氏、黒田氏は、「自社導入プロジェクトを通じて得たノウハウを、HPE Aruba製品の導入アセスメント・設計・構築・運用支援などのサービスとして整備しつつ、お客さまへの『ワークスタイル変革ソリューション』提案を強化していく」と意気込みを話す。

最後に、高倉氏が次のように抱負を語って締めくくった。

「ネットワークにつながらなければ仕事にならない、いわばモバイルファーストの時代が到来しました。私たちは、お客さまの働き方や働く場所の可能性を広げ、業務効率を高め、ムダやストレスを解消し、より大きなビジネスの成果を手にしていただけるよう、HPE Aruba製品を活用したセキュアかつ高速な無線LANソリューションの価値を磨き上げていきたいと考えています。HPEには、より競争力の高い製品とテクノロジーを期待しています」

ベネフィット

データレスPCソリューションと組み合わせ
「Workspace as a Service」を具現化

横河レンタ・リースは、独自開発のデータレスPCソリューション「Flex Work Place」を軸にした新しいビジネスチャレンジを始めている。Flex Work Place は、PC上のデータを自動的に・強制的にファイルサーバーやクラウドストレージに保存し、PC内にデータを残さないソリューションである。手軽にシンクライアント環境を実現する選択として人気を博している。

詳しい情報

HPE Arubaについてはこちら

www.hpe.com/jp/networking

日本ヒューレット・パッカード
公式ソーシャルメディア

facebook.com/HPEJapan

twitter.com/HPEJapan

